

令和5年2月15日

赤門鍼灸柔整専門学校
校長 安齋 昌弘 殿

学校関係者評価委員会
委員長 吉村 敏之

令和4年度 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会は「令和3年度 学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いました。別紙のとおり評価結果を報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 吉村 敏之 (教育関係 : 宮城教育大学大学院教授)
- ② 宗形 明子 (卒業者関係 : 昭和59年鍼灸指圧科卒業
治療院 院長)
- ③ 押切 悦男 (学識経験者 : 税理士)
- ④ 原田 淳 (保護者関係 : 接骨院 院長)
- ⑤ 相澤 光哉 (地域関係 : 元宮城県議会議員・議長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和4年11月22日(赤門鍼灸柔整専門学校 会議室)
- 第2回委員会 令和5年2月9日(赤門鍼灸柔整専門学校 会議室)

以上

1 教育理念、教育目標等について

- ・医療人として、伝統医学の歴史と、赤門宏志学院の伝統を守りご指導いただいて感謝申し上げます。
- ・各種学会への参加、外部有識者からなる教育課程要請委員会の意見の取り入れ、学校以外の積極的参加があり、実施状況・課題・今後の改善方策ともに評価できる。
- ・確かな実績と伝統をふまえ、時代の変化に応じた学科名の変更は適切である。

2 各評価項目について

(1) 重点目標について

- ・質の高い医療人の育成にむけて、東洋医学の意義と東洋医学に携わる人材の専門性を広く社会に示す活動がさらに必要である。
- ・困難な課題への対応については、様々な機関との連携・情報交換が必要である。

(2) 学校運営

- ・理念・目標に沿って運営方針を策定し事業計画を作成、運営組織を明文化しともに評価できる。
- ・昨年9月に infoClipper を導入したとの事ですが、保護者にも使わせて頂きたい。使用できれば、保護者会に向けてのアンケート・議題の連絡、授業の出欠状況を学生・保護者と共有できる。休講や災害情報時の安否確認情報やお知らせ、定期試験の結果を学生・保護者と共有等々良い機能が沢山ある良いシステムだと思われるので、システム推進チームを作成し、早急に使いこなせるようお願いしたい。
- ・業務の効率化にむけて、ハード面とともに、ソフト面＝個人のキャリアアップと組織としての機能強化が不可欠である。

(3) 教育活動

- ・教育課程編成委員会の意見や職業教育や関連業界団体の連帯等の意見を取り入れ努力しているのが感じられ評価できる。
- ・本年度は、コロナウイルス感染症の拡大により附属治療所の臨床実習が行えなかったのは仕方がない事であるが、新たに超音波画像観察装置を用い実践的な教育を実施した事は評価が高いと思う。
- ・教職員に対しても日本伝統医療看護連携学会を主催し又、(公社)東洋療法学校協会教員研修会・(公社)全国柔道整復学校協会教員研修会・各種学会へ参加し資質の向上に努めており評価できる。
- ・困難な課題をかかえる学生への対応は、学外の機関・専門的知見を有する方との連携が不可欠である。
- ・コロナ禍でも、学修の質を維持できる教育体制づくりが急務である。

(4) 学修成果

- ・授業時間外での補習教育や個別相談、生活指導を行っていて評価できる。また、卒業生との交流から学生が未来の目標を見つけたり、私たち保護者も各種イベントに参加し、学校・保護者が力を合わせて学生（子供）の夢の為に協力しなくてはならないと思う。
- ・キャリアデザインが描けるよう、伝統ある学校ならではの人的ネットワーク（卒業生を中心に）をいかし、交流の機会をつくることにより、学修への意欲が高まるのではないだろうか。
- ・悩みを抱えている学生には、多様な人的サポートが要る。

(5) 学生支援

- ・「無料職業紹介所」の登録による就職支援、学生相談窓口の設置による学生支援のほか、「学業奨励品制度」「授業料の分納」「高等教育の修学支援制度（給付）」・独立行政法人日本学生支援機構による奨学金（給付型・貸与型）・日本政策金融公庫や信販会社による教育ローン、教育訓練支援給付等の各種教育資金面での支援をしていることは評価できる。

(6) 教育環境

- ・評価できる。
- ・充実している。

(7) 学生の受入れ募集

- ・高校生への広報とともに、人生 100 年時代のキャリア形成にむけて、社会人へのアピールも必要である。

(8) 財 務

- ・学校における収支のカギは、学生人数（卒業するまでの学生人数）だと思うので、社会人向けの対策も検討を要する。
- ・入学者の充足率を高め、教育の質を高める人件費の確保に努める必要がある。

(9) 法令等の遵守

- ・努力を評価できる。
- ・適切である。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・コロナウイルス感染拡大の中よく検討し努力を行っており評価できる。
- ・適切である。

(11) 国際交流

- 各国での免許制度の違い、言葉の違い等、問題は多々あるが、よく検討し努力し多数の海外留学生を受け入れている事に感謝する。
- 確かな実績と伝統をふまえ、東洋医学の知見と技を海外にも示すことができるとよい。